

宇都宮テニス協会
監督 佐藤 政大

1・大会概要

- ・日 程 平成21年7月16日(木)～19日(日)
- ・会 場 千葉県立柏の葉公園庭球場・柏市柏の葉庭球場
柏市富勢運動場庭球場
- ・主 催 日本テニス協会、柏市、柏市教育委員会
ゆめ半島千葉国体柏市実行委員会
- ・主 管 千葉県テニス協会
- ・後 援 千葉県、千葉県教育委員会、千葉県体育協会
ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会実行委員会

2・試合方法

- ・ 本大会は32チームでトーナメントを行い、優勝を決定する。
なお、7ポイントの対抗戦とし、4ポイント獲得したチームをその勝者とする。
- ・ コンソレーションは、1回戦敗者16チームによるトーナメントを行い、優勝を決定する。
- ・ 試合はすべて8ゲームプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・ 各対抗の試合順序は下記により行うが、複種目はすべて行い、その後、勝敗決定後の試合は打ち切る。
 - 1) 一般女子複 2) 一般男子複 3) ベテラン1部男子複
 - 4) ベテラン1部女子複 5) ベテラン2部男子複 6) 一般女子単
 - 7) 一般男子単

3・参加監督・選手

監督：佐藤政大 マネージャー：白石順子
 1. 一般男子 佐藤政大 黒田貴臣
 2. 一般女子 横田友見 渡辺裕美子
 3. ベテラン1部男子 宮部正章 落合 聡
 4. ベテラン1部女子 益子きく子 白石順子
 5. ベテラン2部男子 久郷長男 橋本篤治

4・試合結果

1回戦	宇都宮市 対	東京都江戸川区 宇都宮市	- 3	江戸川区
	1) 一般女子複	横田友見 渡辺裕美子	2 - 8○	大竹志歩 桑田寛子
	2) 一般男子複	佐藤政大 黒田貴臣	○8 - 6	八木宏和 中川優介
	3) ベテラン1部男子	宮部正章 落合 聡	0 - 8○	廣岡孝通 佐藤幸裕
	4) ベテラン1部女子	益子きく子 白石順子	○8 - 2	武内悦子 小田智子
	5) ベテラン2部男子	橋本篤治	8 - 0	長谷川義春

		久郷長男		赤毛 裕
	6) 一般女子	渡辺裕美子	1 - 8	武内志歩
	7) 一般男子	黒田貴臣	9 - 7	八木宏和
2 回戦	宇都宮市 対 徳島市	宇都宮市	- 3	徳島市
	1) 一般女子複	横田友見 渡辺裕美子	2 - 8	西改由衣 庫元菜子
	2) 一般男子複	佐藤政大 黒田貴臣	8 - 6	林 由祐 乾 幸太郎
	3) ベテラン 1 部男子	宮部正章 落合 聡	8 - 4	小谷卓宏 住友秀人
	4) ベテラン 1 部女子	益子きく子 白石順子	6 - 8	森 裕子 露元一子
	5) ベテラン 2 部男子	橋本篤治 久郷長男	8 - 3	後藤田邦裕 森元健司
	6) 一般女子	渡辺裕美子	5 - 8	庫元菜子
	7) 一般男子	黒田貴臣	8 - 5	乾 幸太郎
3 回戦	宇都宮市 対 郡山市	宇都宮市	- 1	郡山市
	1) 一般女子複	横田友見 渡辺裕美子	3 - 0 R E T	澤口いずみ 伊東左江子
	2) 一般男子複	佐藤政大 黒田貴臣	8 - 2	今泉壮規 車田 暁
	3) ベテラン 1 部男子	宮部正章 落合 聡	8 - 3	渡辺良晃 大栗広経
	4) ベテラン 1 部女子	益子きく子 白石順子	4 - 8	大塚由弥子 田母神みほ子
	5) ベテラン 2 部男子	橋本篤治 久郷長男	8 - 1	会田秀一 佐藤敏明
	6) 一般女子	渡辺裕美子	打ち切り	澤口いずみ
	7) 一般男子	佐藤政大	打ち切り	今泉壮規

準決勝	宇都宮市	対	京都市		
	宇都宮市		京都市	1 -	
1) 一般女子複	横田友見 渡辺裕美子		平 知子 伊藤和沙	2 - 8	
2) 一般男子複	佐藤政大 黒田貴臣		佐野 光 野口政勝	3 - 8	
3) ベテラン1部男子	宮部正章 落合 聡		森田和也 尾中弘明	4 - 8	
4) ベテラン1部女子	益子きく子 白石順子		土屋章子 堀江弘美	8 - 6	
5) ベテラン2部男子	橋本篤治 久郷長男		松本千秋 堤 勝弘	2 - 8	
6) 一般女子	渡辺裕美子		伊藤和沙	2 - 1 打ち切り	
7) 一般男子	佐藤政大		佐野 光	打ち切り	

5・所感

7月17日、第3会場の富勢運動公園にて、初戦の東京代表・江戸川区と対戦しました。江戸川区の圧勝という大方の予想を裏切り、一般男子の佐藤・黒田組が8 - 6で勝利したところから風向きが変わり、ベテラン女子・ベテラン2部男子が圧勝し、最後の男子シングルの黒田選手が7 - 3リードから実力者の八木選手に7 - 7まで追いつかれましたが、最後9 - 7で振り切り東京を破るという大金星をあげました。

続く2日目、会場を県柏の葉庭球場に移し、目標であるベスト8を目指し徳島市と対戦しました。やはり、本戦勝ち残りチームはどこも強敵であり、前日同様男子シングルにかかり、またしても黒田選手の頑張りで勝利し、3回戦に進みました。

次の対戦の郡山市とは、ダブルスのみで決着がつき、初の準決勝進出となりました。

3日目の準決勝、3年連続優勝を目指す京都市の壁は厚く、1 - 4で負けてしまいましたが、選手一同、満足のいく結果を残すことが出来た充実感で一杯でした。

コンソレは、初戦の相手の江戸川区が圧勝で優勝し、そこに勝てた事、3日目の4チームに入れた事、そして最後の表彰式に参加できた事、全ての事が感動に値するものとなりました。

最後になりますが、大会関係者をはじめ、栃木県テニス協会及び宇都宮テニス協会の関係者の方々には、大変お世話になりました。

今年の戦績が第1歩目として、栃木県のレベルが年々向上していきますように、日々努力して参りたいと思います。来年も又、ご支援宜しくお願い致します。

